

亀田地区公民館運営審議会 書面審議概要

1 書面審議概要

書面開催理由 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

- (1) 名 称 第7期 第3回 亀田地区公民館運営審議会
- (2) 書類発送 令和2年6月12日
- (3) 意見集約 令和2年6月24日
- (4) 書面審議関係者（敬称略）
 - ①委員 植木京子、遠藤由美、小見直樹、斎藤裕（議長）、
坂井幸恵、田村智江（副議長）、塚野義孝、弦巻真里枝、
戸田道治、横木春三（五十音順）
 - ②事務局 亀田地区公民館 澤栗裕子（館長）、原政之（主任）
曾野木地区公民館 山上実（館長）
横越地区公民館 岩橋光彦（館長）

2 書面審議内容

(1) 令和元年度公民館事業報告について

意見・亀田地区公民館の「家庭教育講演会」に思春期が含められるとよい。

- ・曾野木地区公民館の「共生セミナー」はタイムリーな話題と魅力的なゲストなので、もう少し参加者がほしかった。
- ・「ゆりかご学級三館合同特別編」の開催はいつも利用する公民館以外の公民館へ行ってみる良いきっかけになったのではないかと感じた。
- ・各館とも企画委員やボランティアの活用を図りながら、少ない予算の中で工夫しながら事業が行われている。
- ・公開講座は連続講座に参加できない人に有効である。
- ・募集人数に満たない講座は、参加を促すための検討をしてほしい。
- ・子育て世代を支援する事業が多いことが良いと感じた。

(2) 事業評価シートについて

意見・亀田地区公民館の「父親学級」は評価にあるように、父親への有効なアプローチとニーズの把握が必要に思う。

- ・高齢化が進む中、今後自主運営以外で無理のない運営方法の検討が必要と感じた。（外部委託の導入等）
- ・三館合同事業「江南区コミュニティ・コーディネーター養成講座」の「カエルキャラバン」をコミュニティで活用してもらうための課題を今後明らかにしてほしい。
- ・学校との事業は大切にしたいが、同じ学校だけにならないよう各校への働きかけが必要である。
- ・家庭教育事業で乳児から児童までを三館で分担して実施していることは良いことだと思う。必要としている人に情報が届くようにしてほしい。

- ・「青少年の生きる力を育む事業」では各館とも工夫をこらし、学生やボランティアの協力を得ていて良い。また三館とも中高生に学習室を開放したのは良かった。
- ・高齢者が生き生きと生活できる事業を今後も展開してほしい。
- ・「現代的課題を探り、解決を支援する事業」は、課題をどう捉えるかが大切。計画立案の段階で吟味する必要がある。
- ・次に繋がる評価になっている。是非今年度の事業に役立ててほしい。
- ・横越地区公民館、大江山公民館の「地域コミュニティ活動」が令和元年度で廃止は残念である。

(3) 令和2年度事業計画について

- 意見・コロナの関係で事業の中止や延期等の対応で苦勞が多いと思うが、やっと動き出せそうな環境になってきたので、例年通り充実した活動が展開されることを期待している。
- ・継続事業が多い中、新規事業も企画されて良いと思う。
 - ・参加者が増える工夫をお願いしたい。
 - ・コロナの影響で中止せざるを得ない事業があり残念だが、無理のないように実施してほしい。

(4) その他

- 意見・高齢者は健康に関する内容やものづくりがあると参加しやすいと思うが、参加がきっかけで人との交流が深まったり、次の学習意欲につながったりすると良いと思う。
- ・今の子どもたちや保護者が抱えている課題を理解し、温かい支援につなげてほしい。

3 送付資料

- ・資料1-1~3 令和元年度事業報告（亀田・大江山・曾野木・両川・横越）
- ・資料2-1~3 令和元年度事業評価シート（亀田・大江山・曾野木・両川・横越）
- ・資料3-1~3 令和2年度事業計画（亀田・大江山・曾野木・両川・横越）

※各委員よりいただきましたご意見は、今後の事業展開に活かしてまいります。